2026年10月29日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク
9,994万kW
17時、99,944 MW（10エリア同時刻合計）

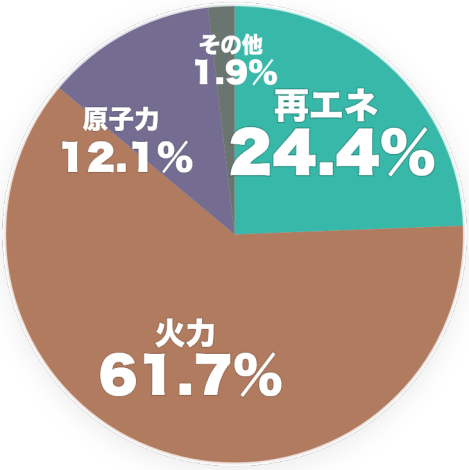
☀ 太陽光ピーク
4,159万kW
11時、41,590 MW（自家消費分除く）

≋ 風力ピーク
233万kW
0時、2,333 MW

◇ 再エネ最大需要比
51.7%
12時、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア
東京
112 GWh

↔ 最大送電エリア
東北
93.5 GWh



概況

再エネ比率トップ

中部 33.8%

94.7 GWh

出力抑制量

5.7 GWh

最大: 東北 1.9 GWh

揚水・蓄電の充電

40.5 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク

- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、17:30に3,234万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで33.8%でした。
- 出力抑制は東北、中国、四国、九州。

項目	値	補足
再エネ発電量比率	**24.4%**	発電電力量ベース
再エネ発電量	**527 GWh**	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力量	**2,162 GWh**	発電構成比の分母
再エネ最大需要比	**51.7%**	12時
出力抑制量	**5.7 GWh**	最大: 東北
揚水・蓄電の充電	**40.5 GWh**	発電構成比には含めない

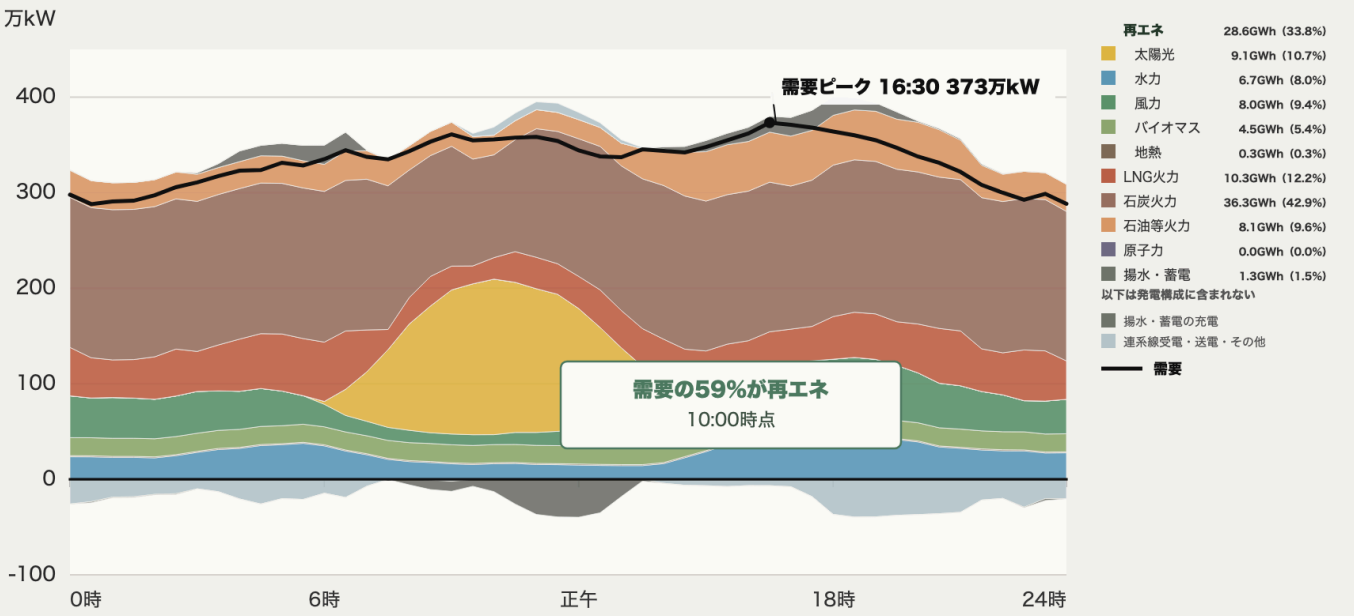
エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・その他 (GWh)
北海道	**33.8%**	**28.6**	**0.0**	**送電 3.3**
東北	**31.8%**	**98.2**	**1.9**	**送電 93.5**
東京	**15.3%**	**88.1**	**0.0**	**受電 112**
中部	**33.8%**	**94.7**	**0.0**	**受電 60.2**
北陸	**33.2%**	**27.8**	**0.0**	**送電 12.8**
関西	**18.7%**	**57.4**	**0.0**	**受電 31.3**
中国	**23.0%**	**37.8**	**1.8**	**送電 17.9**
四国	**30.3%**	**28.3**	**0.7**	**送電 33.2**
九州	**26.6%**	**64.0**	**1.3**	**送電 22.7**
沖縄	**10.0%**	**2.3**	**0.0**	—

2026年10月29日の供給実績

北海道エリア

再エネ
28.6GWh
（発電電力量ベース33.8%）

北海道エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
84.7GWh

需要ピーク
16:30、373万kW

連系線・その他
3.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

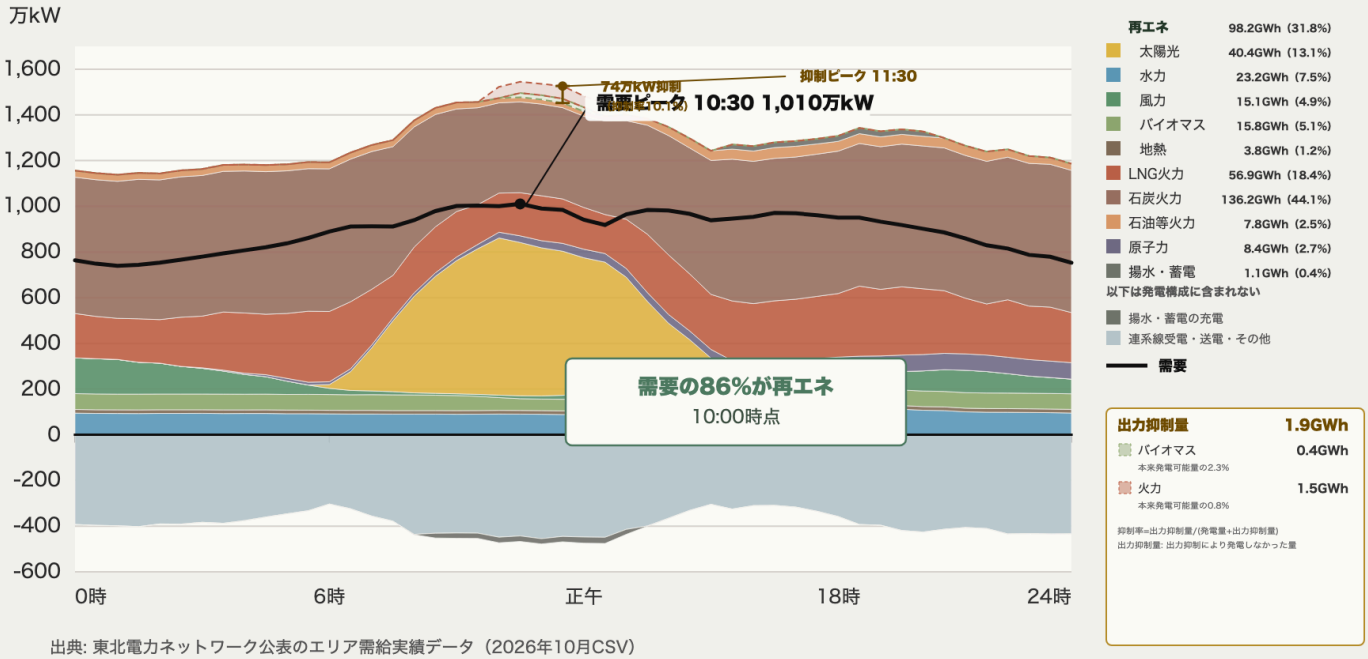
北海道は、太陽光ピーク163万kW、風力ピーク64万kWで、時間別の再エネ最大需要比は58.9%だった。

2026年10月29日の供給実績

東北エリア

再エネ
98.2GWh
（発電電力量ベース31.8%）

東北エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
308.6GWh

需要ピーク
10:30、1,010万kW

連系線・その他
93.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電
1.2GWh

出力抑制
1.9GWh

概況

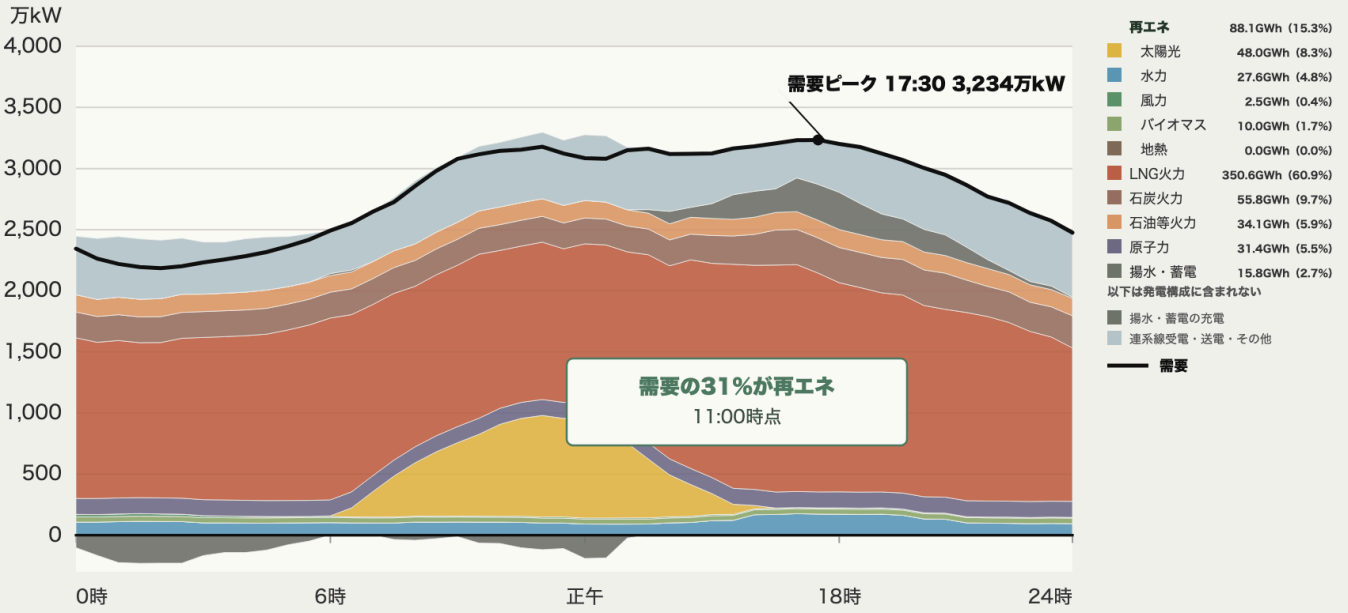
東北は、太陽光ピーク688万kW、風力ピーク157万kWで、時間別の再エネ最大需要比は86.1%だった。

2026年10月29日の供給実績

東京エリア

再エネ
88.1GWh
（発電電力量ベース15.3%）

東京エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
575.8GWh

需要ピーク
17:30、3,234万kW

連系線・その他
112.4GWhの受電

揚水・蓄電の充電
14.3GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

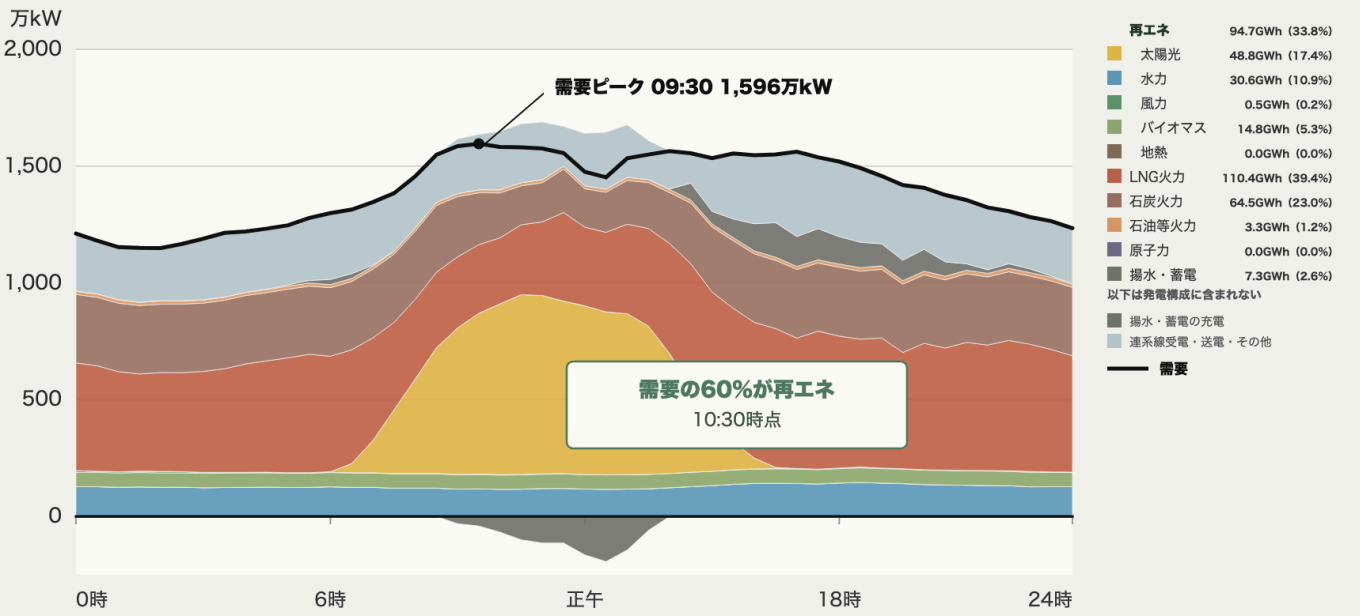
東京は、太陽光ピーク830万kW、風力ピーク21万kWで、時間別の再エネ最大需要比は31.4%だった。

2026年10月29日の供給実績

中部エリア

再エネ
94.7GWh
（発電電力量ベース33.8%）

中部エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
280.2GWh

需要ピーク
09:30、1,596万kW

連系線・その他
60.2GWhの受電

揚水・蓄電の充電
5.1GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

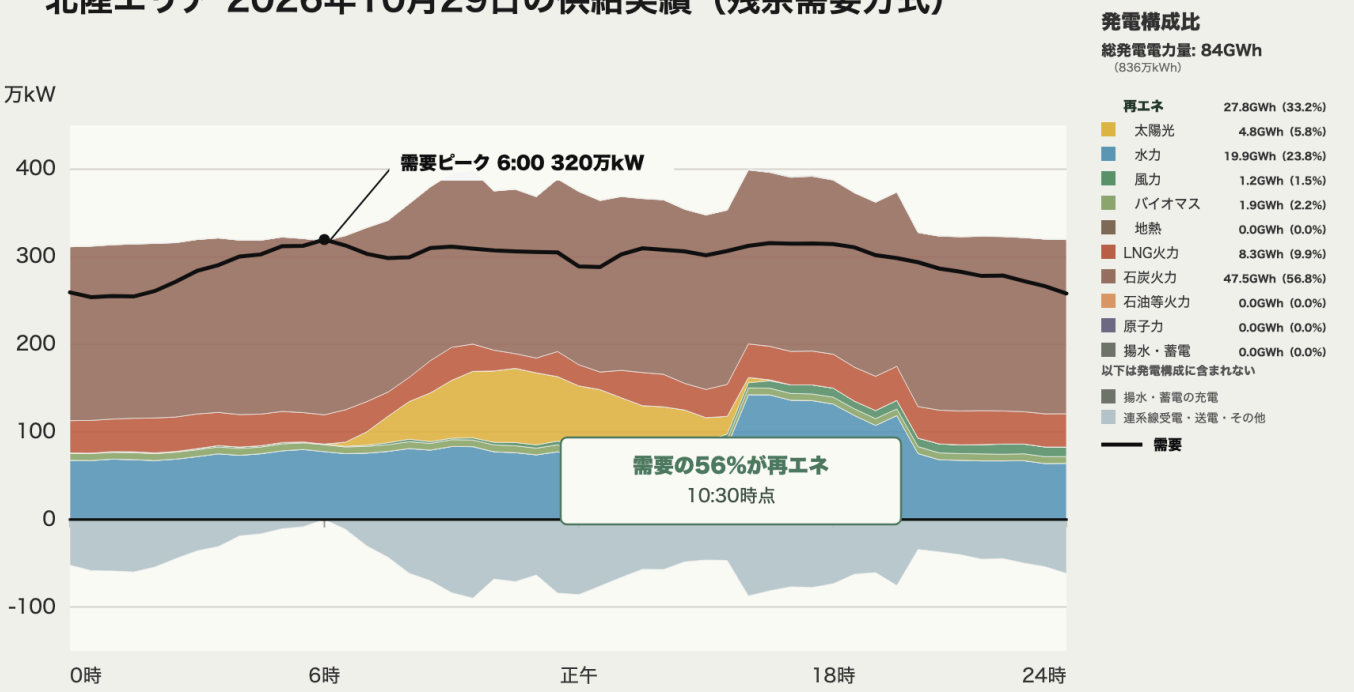
中部は、太陽光ピーク770万kW、風力ピーク7万kWで、時間別の再エネ最大需要比は61.1%だった。

2026年10月29日の供給実績

北陸エリア

再エネ
27.8GWh
（発電電力量ベース33.2%）

北陸エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
83.6GWh

需要ピーク
6:00、320万kW

連系線・その他
12.8GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

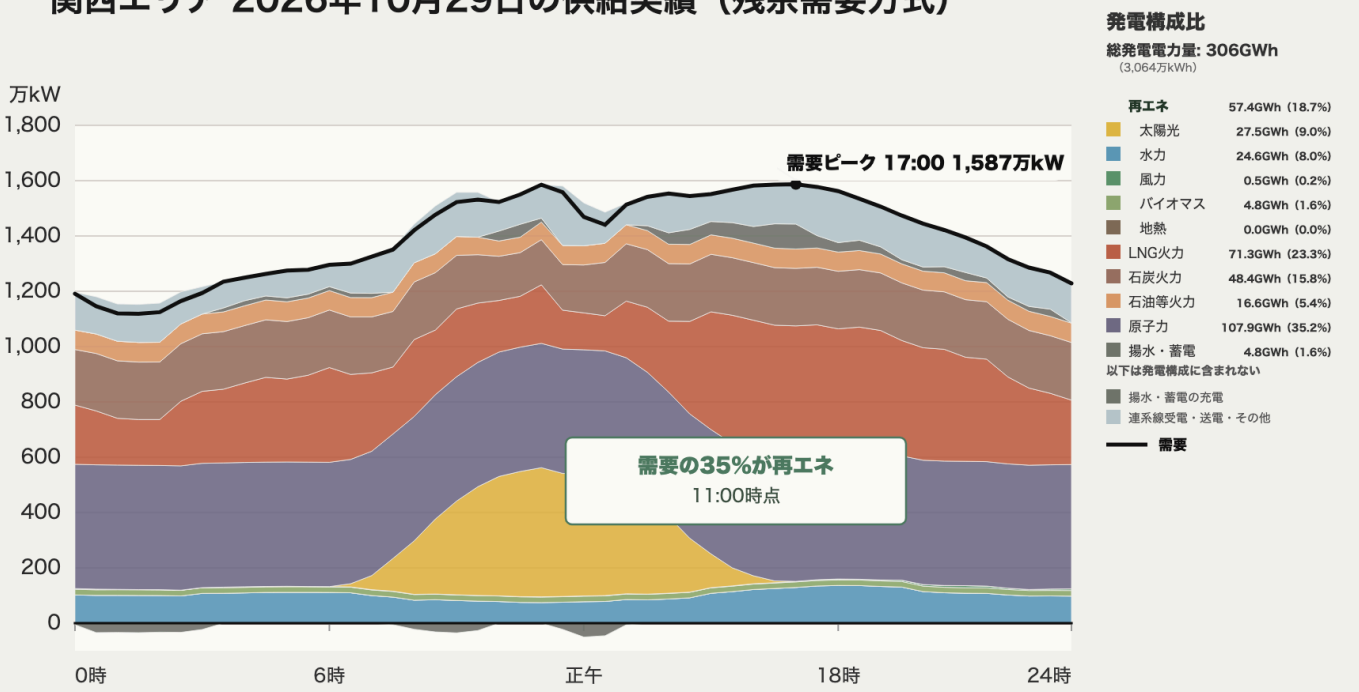
北陸は、太陽光ピーク85万kW、風力ピーク12万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.4%だった。

2026年10月29日の供給実績

関西エリア

再エネ
57.4GWh
（発電電力量ベース18.7%）

関西エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
306.4GWh

需要ピーク
17:00、1,587万kW

連系線・その他
31.3GWhの受電

揚水・蓄電の充電
2.2GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

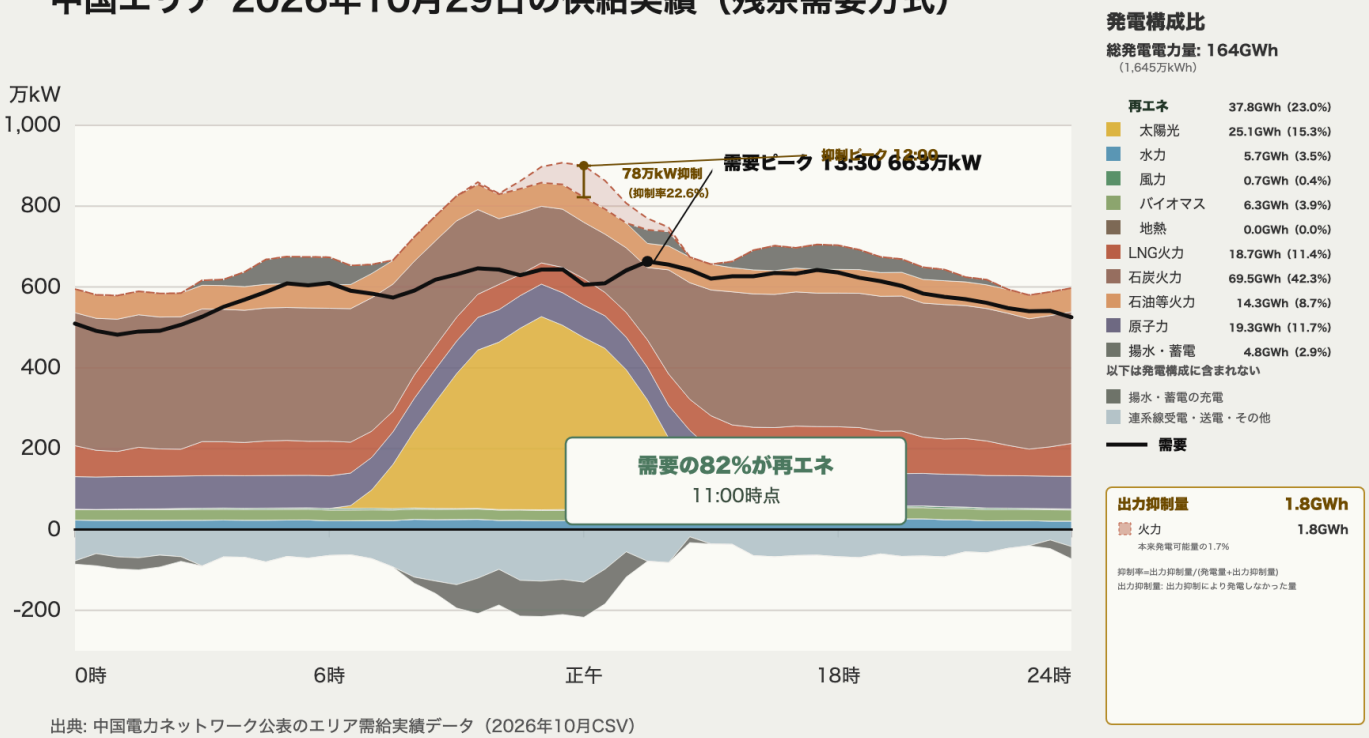
関西は、太陽光ピーク467万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.2%だった。

2026年10月29日の供給実績

中国エリア

再エネ
37.8GWh
（発電電力量ベース23.0%）

中国エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
164.5GWh

需要ピーク
13:30、663万kW

連系線・その他
17.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電
4.9GWh

出力抑制
1.8GWh

概況

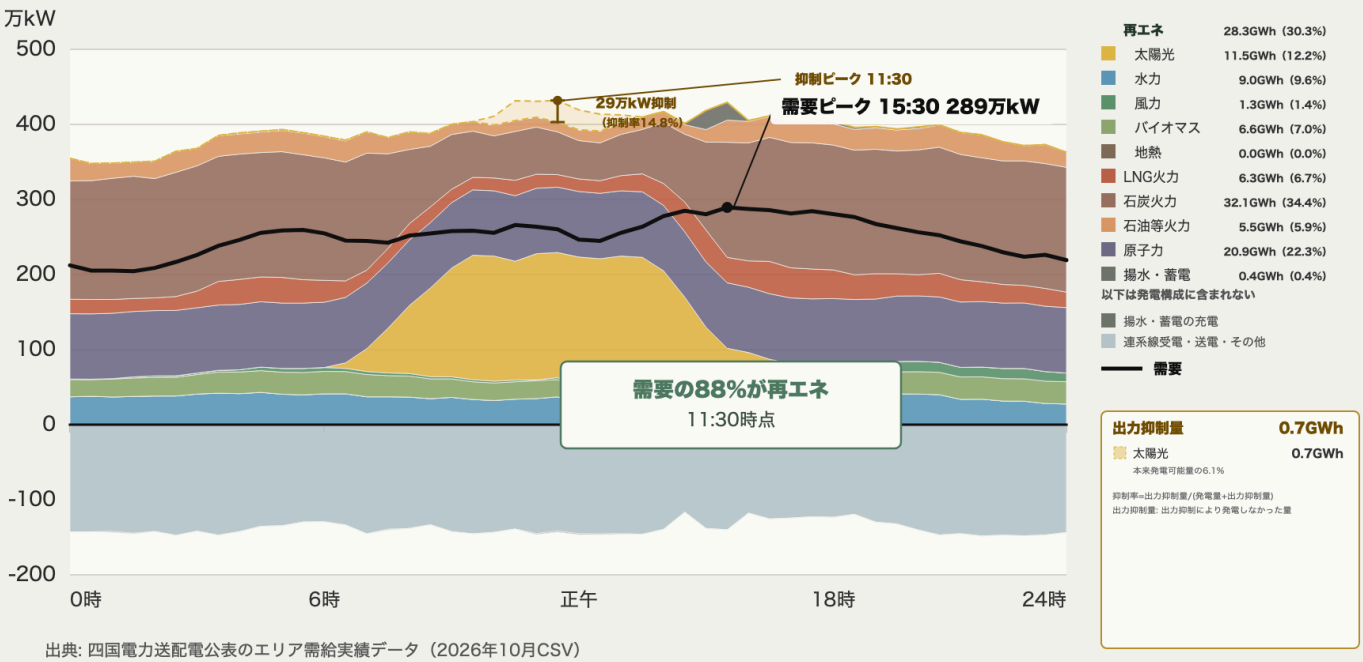
中国は、太陽光ピーク478万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は81.9%だった。

2026年10月29日の供給実績

四国エリア

再エネ
28.3GWh
（発電電力量ベース30.3%）

四国エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
93.5GWh

需要ピーク
15:30、289万kW

連系線・その他
33.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.7GWh

概況

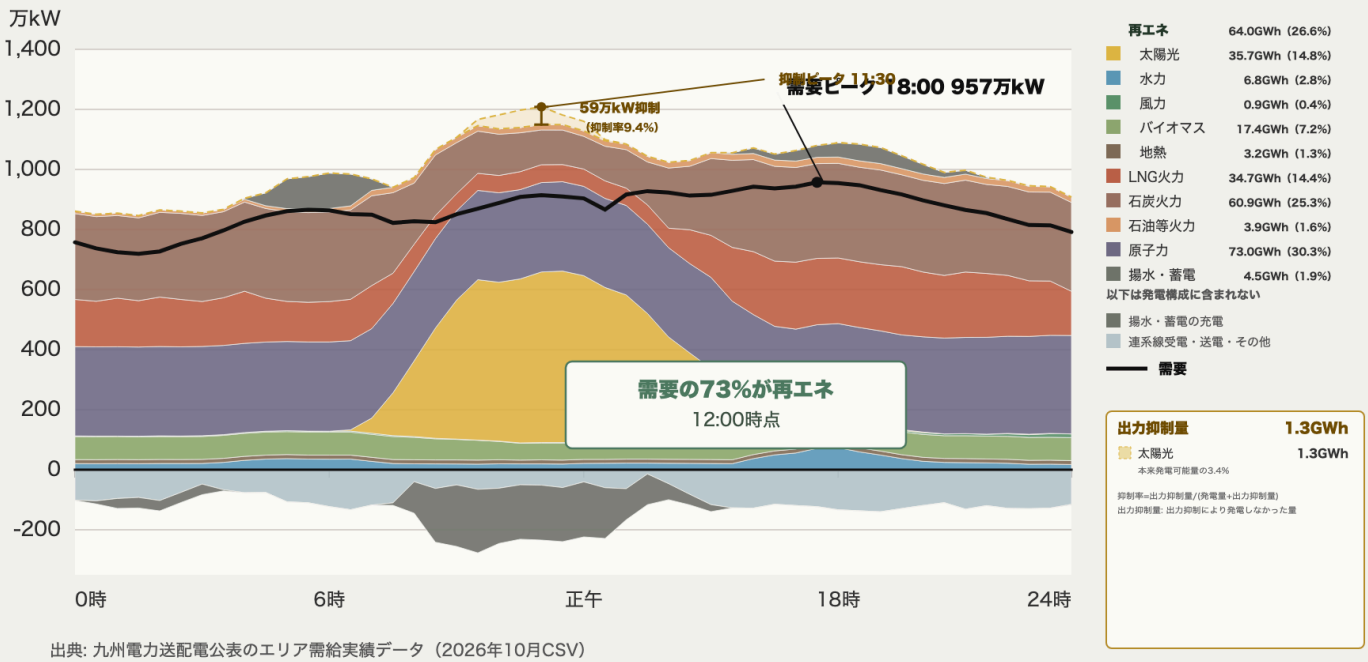
四国は、太陽光ピーク170万kW、風力ピーク14万kWで、時間別の再エネ最大需要比は90.6%だった。

2026年10月29日の供給実績

九州エリア

再エネ
64.0GWh
（発電電力量ベース26.6%）

九州エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
241.0GWh

需要ピーク
18:00、957万kW

連系線・その他
22.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電
11.5GWh

出力抑制
1.3GWh

概況

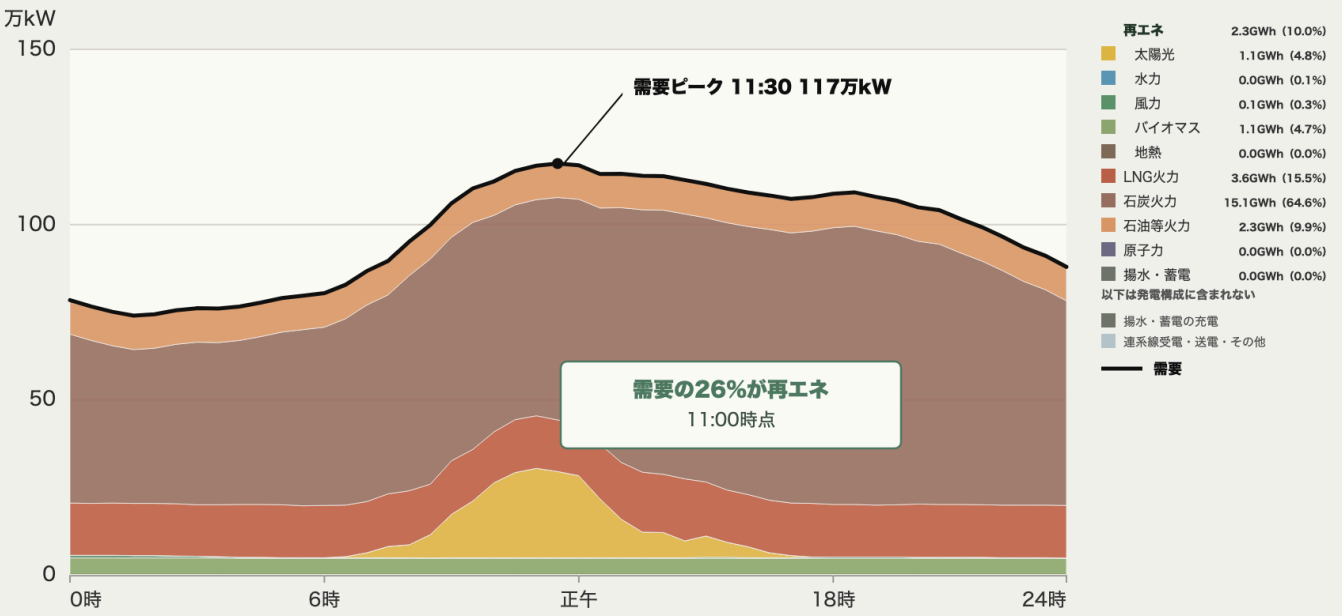
九州は、太陽光ピーク571万kW、風力ピーク13万kWで、時間別の再エネ最大需要比は72.8%だった。

2026年10月29日の供給実績

沖縄エリア

再エネ
2.3GWh
（発電電力量ベース10.0%）

沖縄エリア 2026年10月29日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年10月CSV）
各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。 残余需要=エリア需要−水力−地熱−バイオマス−太陽光−風力。

総発電電力量
23.4GWh

需要ピーク
11:30、117万kW

連系線・その他
0.0GWh

揚水・蓄電の充電
0.0GWh

出力抑制
0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク26万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は26.0%だった。